

「オホーツク学」

～まだ見ぬ出会いと、雄大な自然と学びを君に。～

希望者による放課後探究活動として、オホーツクについて知り・学び・考え、**他校の生徒と一緒に北海道でフィールドワークをしてみませんか？**

「オホーツク学」は東京農業大学が主催する地域探究学習であり、産官学連携プロジェクトの一環として開発中の高校生対象の教育プログラムです。北の大地を舞台に大自然に触れつつ自然由来の生物資源を活用して機能性の高い商品を開発する技術などに関わり、集団の中での役割を認識・実践しながら当事者意識を持つことで、**主体性の向上を目指します。**

また基礎プログラムで身に着けた知見や考えを元に北海道でフィールドワークを行い、他校の高校生らとのグループワークや研究者とのディスカッションなど、**自身の課題を創出・探究するきっかけが盛りだくさんで、観光とはまるで違う体験ができます。**

主な日程	キックオフガイダンス 5/13 (火) 17:10～ 基礎プログラム 5/16 (金) 5/31 (土) 6/14 (土) 6/21 (土) 予定 本校で4回実施。「美」に関わる体験を中心に探究しつつ思考を深める 美ジネス教育シンポジウム 5/24 (土) 神戸大学×東京農業大学×ロート製薬×アルビオン フィールドワーク 7/30 (水) ～8/2 (土) (北海道で地域探究／地域の方や大学生との交流／研究者らとのディスカッション等) ※高2修学旅行とは違う地域(道東)になります。 ※フィールドワークのみの参加はできません。「基礎プログラムのみ受講」は可能。
費用	フィールドワーク：約75,000円前後 ※詳細未定 (飛行機代・食費・3泊4日の宿泊費込み／「基礎プログラムのみ受講」の生徒は無料) 申請すれば東京農業大学から20,000円のキャッシュバックの予定
参加条件	「主体性を向上させたい人」「初対面の人と積極的にコミュニケーションできる人」 募集人数は15名程度。応募人数が多い場合は面談等で総合的に判断し参加者を選出します。

フィールドワークでは**他校の生徒も参加します**。初対面の人たちと交流・協力しながら様々な課題に取り組み、普段味わえないような思考・体験ができる**「リーズナブルで質の高い学び」**が得られるチャンスです。応募する人はフォームで仮登録ください。詳細もフォーム内で確認できます。

校内締め切り：5月9日(金)まで

質問等は塩谷(美術室)か紙屋先生(中学)まで

仮登録用フォーム <https://forms.gle/MacqDMhwtff97BcG7>



主なスケジュールと詳細

■基礎プログラム（5/16 5/31 6/14 6/21）in 大阪国際高校

参加無料／30 名程度 土曜午前に 4 回程度実施予定（7 月に実施する可能性もあり）

今年度のオホーツク学のテーマは「美」。自然の美、人が創造した美、精神性の美…。美に関連する体験や探究活動を通じて、自分や他者、あるいは社会において「美」とは何かを考えます。

どのようなカタチで美が表現されているのか？五感を通じてどのように美を感じるのか？外見だけでなく内面から輝くための美とは？様々な価値観や多様性を自分事として受け入れつつ、自己を確立していくことの重要性を「美」という側面から考え、新たな価値を創造できないか模索します。

- ・ 国立国際美術館でのギャラリートツアー（作品鑑賞）や学芸員の方の講義
- ・ パリ・ビューティー専門学校の方による美の探究やハンドマッサージの実践
- ・ 辻調理専門学校の方による「美食」の探究&調理実習（調理&実食）
- ・ 自分たちが設計したゴールに向けて主体的に取り組む
- ・ 組織の役割を認識／実践することで主体性の芽生えを促す

■美ビジネス教育シンポジウム（5/24）in 大阪国際高校 講堂

本校にて行われる教育シンポジウム（神戸大学×東京農業大学×ロート製薬×アルビオンのコラボ）に参加します。オホーツクから流水もやってきます。

■フィールドワーク（7/31～8/3）in 北海道オホーツク

参加費 75,000 円程度（詳細未定）／10 名程度 ※20,000 円キャッシュバック予定

目線の 2／3 が空になる大空間。地平線が見渡せる広大な大地では五感が研ぎ澄まされます。基礎プログラム得られた知見や考察を元に、実際に北海道オホーツクへ足をのばし、リアルな社会的課題を学び、課題解決のヒントを探します。

- ・ フィールドワークへの参加は、**基礎プログラムの参加が必須**となります。
- ・ 他校との合同研修会や、帰阪後にも合同フィードバックなどがあります。

確認事項

<基礎プログラム>

- ・ 基礎プログラム参加枠は 30 名程度です。希望者多数の場合は抽選や面談などを行います。
- ・ 北海道フィールドワークには行かず、基礎プログラムのみの参加も可能です。

<フィールドワーク>

- ・ フィールドワーク参加枠は 15 名程度です。希望者多数の場合は面談を行います。
（参加条件：基礎プログラム・水域教育シンポジウムに参加していること）
- ・ フィールドワーク参加者は 7/28（月）に他校生徒との事前合同学習会があります。
- ・ フィールドワーク参加後の 8/6（水）に振り返り発表会があります。
- ・ 7 月の保護者面談の日程は担任の先生・保護者の方と相談してください。（ほぼカブります）
- ・ 体験したことや得られた知識を元に、**文化祭での発表や展示など**を想定しています。